

アトリエ 琉游舎 だより 132号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/

2022年6月1日発行

琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>



- 芒種（ぼうしゅ）と螳螂生（かまきりしょうず）と読みます。芒種は24節気のひとつで今年、6月6日から夏至の21日までの季節のこと、螳螂生は芒種の初候となります。季節の言葉ではあまり聞き慣れなませんが、イネやムギなどの芒（のぎ）のある作物の種を播き苗を植える時節から芒種といわれています。現在の田植は連休の前後ですが昔は梅雨に入るか入らないかのこの時期に行われていました。芒種は重要な農事カレンダーです。
- 螳螂生はカマキリがちょうど卵から生まれる時期が芒種の初候にあたるから名付けられた言葉です。肉食のカマキリは作物の葉っぱ類には見向きもしません。逆に葉っぱを食べる害虫たちを好物にしているのです。カマキリさえいれば農薬を使わずに安全で美味しい農作物を食べられるというわけですね。中国ではあまり移動せず農地に定着しやすいというカマキリの特性を利用したカマキリ農法があるそうです。農薬を使わずに害虫を駆除する農法です。
- 農作物の救世主のようなカマキリは益虫と思われがちですが、実は肉食のカマキリは虫であれば何でも見境もなく食べてしまうので、他の益虫も食べてしまうという欠点があります。カマキリに害虫だけを食いなさいといってもそれは無理な相談です。目の前に自分の欲しいものがあれば無差別に捕獲するでしょう。それが悲しいかなこの生き物の習性なのです。
- 人間は差別のできる生き物です。無差別に他者を襲うことはありません。自分に害となるものを選別して襲っているのです。ためになる人や利益ををもたらす人は仲間や同盟国として手厚く処遇しますが、異を唱えたり歯向かう人は仲間はずれや敵国として攻撃を加えます。敵味方の選別ができるからこそ無差別の攻撃を回避できているとも考えられるでしょう。
- 今ある民間人や学校病院などへの無差別攻撃は敵として選別されたから許されるという論理なのでしょうか。自然界ではお腹が一杯になれば無差別捕獲は行わないはずですが、人間だけは永遠にお腹が一杯にはならない習性の生物だとすれば、永久に敵味方を選別し続けなければなりません。この選別と無差別攻撃の無限連鎖を断ち切るには、人は生物の中でも際だって悲しい性の持ち主であるとの自覚を持てと、螳螂はその斧をかざして私たちに迫ってきます。

写経会

6月5日(日) 13時半
般若心経・自我偈・観音偈の手本を用意しています。初めての方もすぐにできます。

読書会

6月14日28日 (火)13時半
5月からは法華経を読みます。2回目の法華経読書会です。分かり易く楽しい会です。資料はすべてご用意いたします。皆さんの参加をお待ちしています。

6月2日の映画会はお休みします

6/9	13時半	大いなる遺産 (118分)	ディケンズ原作。孤児であった主人公ピップがその生い立ちから青年時代までを語る
木			文豪ディケンズの作品。
6/16	13時半	ある日曜日の午後 (69分)	ゲーリー・クーバー主演。ある日曜日の午後、幼馴染のスナッピーと酒を呑みながら昔話で盛り上がっていた歯科医ビブのもとにホテルから歯痛の患者がいるとの電話が入る。
木			

6月23日の映画会はお休みします

6/30	13時半	北西騎馬警官隊 (120分)	ゲーリー・クーバー主演。1885年カナダ北西部で、先住民の混血族メディス率いる反乱軍と
木			北西騎馬警官隊との戦いを描いたセシル・デミル監督の大作映画

私たちはある物や事を好きになるとそのものだけでなく付随するものまでもが好きになってしまいます。好きな人の好きな唄や食べ物をいつの間にか自分も好きになっていたり「あばたもえくぼ」の諺のようにマイナスと思えることもプラスに見える幸福な心理状態です。好きな人のことは何だって全部好きという好意の拡張現象はその逆もまた真となります。「坊主憎けりや袈裟まで憎い」という諺に端的に表されているような嫌悪の根拠なき拡大です。いったん嫌いとなるとその人に関わりのあるものすべてに嫌悪感をいだく心理を、お坊さんが憎くなると身につけていた袈裟まで憎くなると喩えた言葉です。嫌いなのは坊主の言動や身分だけのはずですが、なんの感情もない衣服までもが憎くなってしまふ、大変不幸で後ろ向きの感情です。

個人と国家や個人と民族の問題は今の私には荷が重すぎてここで語ることは不可能です。ただ関東大震災時に日本人が起こした朝鮮人虐殺事件やナチスによるホロコーストの事実を見れば、嫌悪は個人ではなくその属性、例えば民族や国家のもとに無限拡大をおこしていくことは否定のしようがありません。戸井出琉の性格や行動が嫌悪の対象になるのならまだしも、私の与えられた属性が何らかのきっかけで、その属性を持たない人達に嫌悪されるのです。例えばお前は日本人だから嫌いだとかお前は坊主だから嫌いだということです。私の理屈っぽいところや短気なところが嫌いと言われればまだ改善のしようがありますが、お前が日本人だから嫌いと言われれば今の私には対処のしようがありません。ソメイヨシノが「植物界、被子植物門、双子葉植物綱、バラ亜綱、バラ目、バラ科、サクラ亜科、サクラ属」に分類されるように、私は「人間界、黄色門、黒髪綱、日本目、雄科」に分類された生き物と考えれば、黄色人種であることや日本人であり男性であることで嫌悪の対象にされたり他者を嫌悪したりする根拠も権利もどこにもないことが分かるはずで

この根拠なき嫌悪は、トルストイはロシア人だから「戦争と平和」は読まない。チャイコフスキーはロシアの作曲家だから「白鳥の湖」は鑑賞しない。ボルシチはロシア料理だから食べない。というような理不尽な結論に行き着くことを私たちは知っている必要があります。生まれたときに与えられた属性（ロシア）と才能や技術が生み出した作品を不可分と見ると、そこから嫌悪の拡張が始まります。「戦争と平和」を読んで感動するか、ボルシチを食べて美味しいか、それが作品評価の全てです。仏教の世界観「縁起の法則」から見れば「白鳥の湖」はチャイコフスキーが作曲した瞬間に、もう彼の付属物ではなく誰の物でもないありのままの存在となるのです。その時作曲家の名前や国籍は作品の微少な属性の一つにしか過ぎないのです。

ありのままの存在をありのままに観ることはそのものの実相（真如）をつかみ取ることです。これは執着がある限りなかなか観ることができません。何故ならそれは固定的なものではなく常に縁りて起こり（空）続けるものだからです。つまり分類（十把一絡げ）し固定化（執着）することは不可能なのです。しかし私たちの煩惱は無常（空）であるものをそのままにしておくことができません。そこで分類し名付けることで理解しようとするのです。これが知識です。知識は人の論理で無常を固定化したものです。私は今音楽を聴いています。その音の流れの中に身を委ねることができたとき、私はその音楽と共にあるという感動を味わうことができます。音楽をありのままに観る（聞く）ということです。この安らぎの時を私に与えてくれたものがこの音楽のありのままです。芸術に限らず私たちが毎日の生活の中で安らぎの処を感じることで、それは私と対象（他者）がともにありのままの姿を現わし、互いに相観て相照らす（観照）時となることなのです。これが仏の智慧です。人の知識は、この音楽は白鳥の湖、作曲者はチャイコフスキーでロシア人であることを示しますが、この知識（属性）はありのままの音楽とはなんの関係もないことなのです。

仏教徒が依りどころとすべき教えについて涅槃経では「依義不依語（教えの意味に依りて言葉に囚われてはいけない）」「依智不依識（仏の智慧に依りて人間の知識に依ってはいけない）」「依法不依人（教えそのものを依りどころとし、教えを説く人を頼りにしてはいけない）」と説いています。私たちは「依ってはいけない」といわれている「人が語る言葉」「人が教える知識」「教えを説く人」に吸い込まれるように引き寄せられてしまいます。日蓮聖人は現存する著作や消息文の中で「依法不依人（法に依りて人に依らざれ）」の言葉を30回以上引用しています。頻繁に注意喚起しなければならないほど、ありのままに教えを受持することは難しいことであり、逆に人の編み出した知識・言語・解説は口当たりがよく我見（執着）を追認してくれる都合のよい言葉なのです。仏の教え（法灯明）のままに歩き続けるためには「ありのままの私の受持（自灯明）」がなければなりません。私とお釈迦様の自由で平等な同行です。しかし自灯明を私でない何か（仮に他灯明と名づけます）、例えば宗門や僧侶やお札や祈祷に預けてしまうと、私は他灯明が示す属性の一員としてある団体や会に分類され、固定化（執着）された「私」となることを余儀なくさせられるのです。私は日蓮宗の僧侶ですが、その前にお釈迦様の弟子です。日蓮宗の僧侶は私の属性です。お釈迦様の弟子はありのままの私です。お釈迦様の弟子でいられる限り私は自由自在に日々を歩むことができます。ありのままの私でいる限り属性が私を固定することは、私自身も私以外の誰もできることではないのです。

あばたもえくぼの好意はいとも簡単に坊主憎けりや袈裟まで憎いの嫌悪に取って代わられることは、結婚と離婚の関係を見ればよく分かります。好意と嫌悪は裏表の関係なのでしょう。また蓼 琉游舎：戸井 出琉・恭子 食う虫も好き好きのように自分の物差しで好悪を測ることの迂闊さも、その 問い合わせ：0287-53-7848 08033508152 発露も執着のなせるわざと分かっている、私は日々テレビから流される 矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850 薄笑いを浮かべて語るロシア人の好悪を保留することが可能だとは思えないのです。メール：toi10lizuru@outlook.jp